

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
木材・木製品	製材業	原木は安定気候に恵まれ、出材量も順調となり相場も4m材を中心に強含みで推移している。一方、輸出材は中国経済の低迷により量が伸び悩むなか、競合する燃料用向けも集荷価格を引き上げている。 製品市況は、弱保合いで推移し、荷動き不振による在庫調整が続いている。住宅需要のうち、価格上昇に起因する持ち家の着工戸数の減少トレンドがその一要因である。
木材・木製品	製材業 (プレカット)	11月の実績は前年比91%となった。住宅については引き続き受注が低迷しているが、大型の非住宅の加工が複数あり、加工量は減少したものの、収益は前年並みを確保できた。ただ、大型物件の納期が重なる状態になり、非住宅加工用の設備は機械・人員ともに不足した状態である。1月まではこの傾向が続くと考えている。
印刷	印刷・同関連業	最低賃金の引き上げに伴い、従業員の給与引き上げをすることになるが、需要が伸びない中、また、価格転嫁も思うようにいかない状況での実施は、かなり難しい。
印刷	印刷・同関連業	チラシ、パンフレットなどの商業印刷物の生産金額は少しずつ増加しており、年末に向けての繁忙期の経済の活性化に期待をしているところである。原材料価格については今後も値上がりする可能性が残っており、注視する必要があると思われる。
窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	10月に続き、11月も前年比117%で出荷量は好調、下期型の出荷数量となっている。人手不足、原材料高騰の流れは続いており、組合員にとって厳しい状況は変わらない。
窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	先月の状況からすると改善され、昨年同月比98.6%となる。期末まであと4カ月であるが、組合創設以来最低の出荷となった昨年より悪くなりそうである。累計でも55.5%と悪い。今期は期末まで今の状況が改善される可能性は低い。更にセメント、碎石、砂などの原材料の値上げもあり、材料費高騰と出荷減少の二重苦となる。今年2月に続き2回目の価格改定を12月に実施することが決定した。
卸売業	卸商業	半導体不足による影響がいまだに続いており、OA機器の入荷遅延がある。 また、原材料の価格が上昇し、取扱商品全てが値上がりしており、顧客への販売価格交渉に手を取られる。
小売業	たばこ販売業	改正健康増進法の完全施行から早くも2年半が経過したところであるが、屋外喫煙所のニーズの高まりに比べ、その設置数は不足している。限られた喫煙所への集中や屋外での吸い殻のポイ捨て等が社会問題化している。県内のたばこ組合で取り組んでいる清掃活動においても、集めたごみの中にたばこの吸い殻が多く含まれている。喫煙者のマナーも問われるが、美しい環境を維持するために地方たばこ税を活用した分煙環境整備の推進が求められている。
小売業	小売商業	当月は、コロナ禍の状況が県内で比較的に落ち着いており、状況が好転するかと期待したが、暖冬による衣料品関連の動きが鈍かった事と、物価高騰の情報や消費者の社会的な不安が払拭されるには至らず、結果として前年からの落ち込みのままで集客は前年並み、売上は微減にて推移した。西都市では大型店舗の乱立によるオーバーストアーの状況を勘案し、地元商店街への支援として、歳末大売出し事業として総額150万円分のギフト商品券が当たるスクラッチくじや街なかイルミネーション点灯の事業が後押しされている。年末年始商戦に向け、地域商店街との連携による歳末大売出しにて集客に繋げ、この難局に備えたい。
小売業	LPGガス小売販売業	11月CP価格(サウジ通告価格)は610 ^{ドル/トン} (前月比+20 ^{ドル/トン})。10月MB価格(米国产平均価格)+(米国物流経費80 ^{ドル/トン})は522 ^{ドル/トン} (前月比△76 ^{ドル/トン})。対顧客電信売相場(10月平均)は148.19 ^{円/ドル} (前月比+4.1 ^{円/ドル})。OPECプラスが世界景気後退による原油価格下落への懸念を背景に11月に原油生産量を日量200万バレル減産することで合意、これは世界原油需要の2%にあたり、2020年以來の大規模減産になることから原油価格が上昇、LPG価格も連動し若干の上昇となった。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非製造業	商店街	宮崎市	商店街の通行量が更に減少し、売上も減少している。
	商店街	都城市	安定して人の往来が多くなり、各種イベントが活発に開催されて経済活動がコロナ以前になりつつあるが、どうしても原材料の高騰は売上が上がる以上に負担を強いられる状況となっている。
	サービス業	観光業	コロナ禍のため、厳しい状況だった観光業もようやくいつもの繁忙期を取り戻してきた。急に忙しくなったので、組合員も体調管理に気をつけながら日々の業務に生き活きと務めている。
	サービス業	自動車整備業	車検の入庫台数は前年比微減。钣金塗装については入庫が多く、年内に納車できるか心配している。
	サービス業	不動産業	仕入価格の上昇で、工事価格の上昇が懸念される。
	建設業	管工事業	宮崎市が水道施設工事、管工事の発注において、条件付き一般競争入札を試行。水道施設工事4件、管工事3件のうち、Cクラス1件が中止となった。中間期を迎え、共同受注配分工事、漏水工事等の工事業、資材共同購入等の資材供給事業の売上はともに増加、損益では資材価格の高騰、労務費、外注費の増加に加え、費目毎では少額であるが、諸経費の増加も気がかりとなる。令和4年度年末年始建設業労働災害防止強調運動の実施に伴い、労働安全巡回パトロールを実施予定である。
	建設業	管工事業	1月に組合員を対象に、インボイス及び電子帳簿保存法の研修会を実施する予定である。
	運輸業	軽貨物運送業	新型コロナウイルスの感染拡大が収まりかけたと思っただが、また感染者が増加してきた収まりそうにない状況が続く、仕事に影響が出ている。燃料関係も高止まりのまま推移し、生活雑貨及び食料品の値上げもあり、苦しい環境での経営を強いられている。他の運送事業者も同様であり打開策が見つからないのが現状である。高齢化も深刻であり新規開業者の募集をしても効果が表れない状態である。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、OPECプラスが11月の生産量について縮小を決定したことや、ロシアへの制裁を強化し同国産の原油に価格上限を設定することを決定したこと等による上げ要因を世界的景気の後退懸念、特に中国で新型コロナウイルスが再拡大しており、厳しい感染対策が講じられている。このことから同国の景気の減速懸念等からなる下落要因が打ち消し小幅に下落する予想であるが、依然として高止まり状態が続いており、組合員の経営は逼迫している。	